別紙様式第５号（第２条第１項関係）

報告日　　　　　年　　月　　日

研究終了・中止報告書

研究機関の長　殿

琉球大学人を対象とする生命科学・医学系研究倫理審査委員会委員長　殿

研究責任者（２のとおり）

琉球大学人を対象とする生命科学・医学系研究倫理審査委員会規程第２条第１項に基づき，下記のとおり［　終了　・　中止　］を報告します。

記

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 受付番号：　　　　年　　　月－　　　※記入不要※**□**は該当箇所にチェックすること。 | 研究責任者の講座(分野)等の長による確認 | **□**　済み |
| １　研究課題名 |
| ２　研究責任者　　　　所属：　　　職名：　　　氏名：　　　 |
| ３　問い合わせ担当者　所属：　　　職名：　　　氏名：　　　 |
| ４　許可年月日　　　　年　　月　　日 | ５　許可番号 |
| ６　許可研究期間　　　年　　月　　日 ～ 　　年　　月　　日 |
| ７　実施期間　　　　　年　　月　　日 ～ 　　年　　月　　日 |
| ８　研究計画の概要 |
| ９　対象症例数，研究実施内容 |
| 10　研究計画書からの逸脱　**□**有　**□**無※有の場合は内容を記載のこと。ただし，侵襲を伴う介入研究は参考様式等も合わせて提出のこと。 |
| 11　実施中の問題点（10に該当するものを除く）※研究中止の場合は中止する理由も含めること。 |
| 12　研究成果と意義 |
| 13　得られた試料・情報の処置 |

※侵襲を伴う介入研究は，参考様式等も合わせて提出のこと。

別紙様式第５号（第２条第１項関係）

研究の終了・中止後、速やかに提出すること

研究の終了→概要を報告できるまでの期間のこと

※論文投稿や学会発表までではない

**注意事項・記入例**

（青字は削除の上、両面印刷で提出してください。）

報告日　　　　　年　　月　　日

研究終了・中止報告書

研究機関の長　殿

琉球大学人を対象とする生命科学・医学系研究倫理審査委員会委員長　殿

研究責任者（２のとおり）

琉球大学人を対象とする生命科学・医学系研究倫理審査委員会規程第２条第１項に基づき，下記のとおり［　終了　・　中止　］を報告します。

終了 or 中止のいずれかを選択。

記

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 受付番号：　　　　年　　　月－　　　※記入不要※**□**は該当箇所にチェックすること。 | 研究責任者の講座(分野)等の長による確認※押印廃止のためチェックボックスにて講座(分野)等の長の確認を行う | **□**　済み |
| １　研究課題名 |
| ２　研究責任者　　　　所属：　　　職名：　　　氏名：　　　 |
| ３　問い合わせ担当者　所属：　　　職名：　　　氏名：　　　 |
| ４　許可年月日　　　　年　　月　　日※許可年月日＝従前の承認年月日※**初回**許可(承認)日を記載 | ５　許可番号※許可番号＝従前の承認番号※**最終**許可番号を記載(変更ありの場合､(変更○)も記載) |
| ６　許可研究期間　　　年　　月　　日 ～ 　　年　　月　　日※許可研究機関＝従前の承認研究期間※開始日は「４　許可年月日」と一致※終了日は**最新版の計画書に記載の日付**と一致 |
| ７　実施期間　　　　　年　　月　　日 ～ 　　年　　月　　日 |
| ８　研究計画の概要※研究計画書の内容と齟齬がないことを確認 |
| ９　対象症例数，研究実施内容※実際に登録した症例数を記載※研究実施期間全体の内容を記載 |
| 10　実施計画書からの逸脱　**□**有　**□**無※逸脱有の場合は，逸脱内容・対象者への影響・対応・再発防止策を明記。また、侵襲を伴う介入研究は参考様式等も合わせて提出のこと。＜例＞・承認研究期間を超えて対象者の登録や研究の継続をしていた(具体的にどのくらいの期間を超えていたのか、登録は何件だったのか等の説明をさらに追記する)。・研究計画に基づく研究対象者の選定方針や研究方法から逸脱した(具体的な説明をさらに追記する)。・研究分担者追加の計画変更の審査依頼を行うのを失念したままの状態で、当該者が研究に携わっていた(具体的に何人、いつから等の説明をさらに追記する)。・逸脱によって対象者への影響は・・・、対応として・・・を行った。・再発防止策として・・・。 |
| 11　実施中の問題点（10に該当するものを除く）＜例＞・終了報告書の提出が遅れた※研究中止の場合→中止する理由を記載　＜中止が想定されるケース（例文ではないため、個別具体的な内容を記載すること）＞　・研究の倫理的妥当性若しくは科学的合理性を損なう事実若しくは情報又は損なうおそれのある情報であって研究の継続に影響を与えると考えられる場合　・当該研究により期待される利益よりも予測されるリスクが高いと判断される場合又は当該研究により十分な成果が得られた若しくは十分な成果が得られないと判断される場合　等。※特になければ「特になし」と記載 |
| 12　研究成果と意義※研究結果の概要および論文投稿状況等を記載 |
| 13　得られた試料・情報の処置 |

※侵襲を伴う介入研究は，参考様式等も合わせて提出のこと。